

惑星大集合!! 明け方の東の空に注目!

「ほっとやまはく」
タイム⑫



きます。しかし、この春は久しぶりに夜空を見上げてみようかな、と思われる方も残念ながら宵（夕暮れ時）の空には明るい惑星が一つも見当たりません。今は明るく見える



4月3日明け方の東空の様子（山口市内）

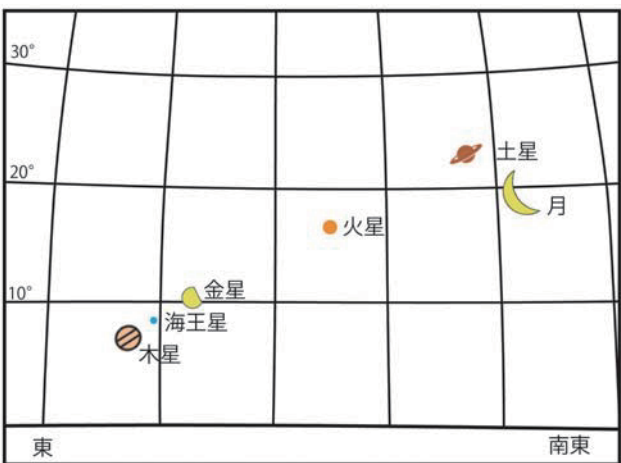


4月5日火星と土星の接近（望遠鏡の同一視野で撮影、山口博物館屋上）

海王星の6惑星と月の大集合が起こり、今ちょうど見頃を迎えています。これほどの数の惑星が同じ方向に集まり、集まった惑星が次々に相手を代えて接近する現象はめったにありません。今回はそのような早朝の天文現象についてご紹介します。

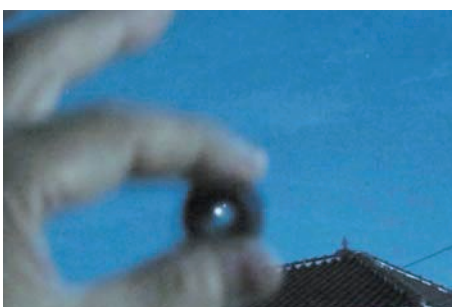
明け方、東の空にひときわ輝いてゐる星は?

明け方に東の空をご覧いただくと、ひときわ明るく輝く星があります。明けの明星、金星です。この金星を目印に、他の惑星を探すと見つけやすくなります（イラスト参照）。月や惑星は、それぞれが異なった速さで星空



4月25日午前4時30分頃の惑星の位置（宇部市）

着目して見ていただきたいと思います。これから



2015年7月金星（左）と木星の接近の様子（丸く見えるのが5円玉、藤原俊雄さん撮影、山口市内）

から28日にかけて、月が土星・火星・金星・木星のそばを通過していく様子と5月1日の金星と木星の接近です。金星と木星の接近は100倍の視野に収まるほど接近します。2015年の接近では、写真のように5円玉の穴を通して二つの惑星を見ることができましたが、今回はもっと近づいて見えます。惑星の大集合の様子は5月末まで楽しめますので、ちよつと早起きして各惑星をご覧になってください。

やまはくの天文担当はどんな活動しているの?

本日紹介した惑星の接近などは、早起きが苦手な天文担当にはつらい早朝の現象ですが、頑張って撮影しています。日中は通常の業務をこなしつつも、活動は主に夜になります。そんな天文担当学芸員の活動を、ちよつとだけご紹介します。

学芸員にとって天文現象を写真や動画で記録として残すことはとても大切な仕事です。天文現象をわかりやすく記録するため、事前に撮影場所の選定や撮影機材、撮影手

順などを地図や天体シミュレーションソフトを活用して検討します。でも一番重要なのは天気です。天気予報をもとに晴れる場所を求めて県内を移動することもしばしば。県立山口博物館の観測室で観測するだけでなく、例えば南の低い空は瀬戸内海側の南方が開けた場所、暗い天体を写すときは星空がきれいに見えるポイントで撮影を行います。きれいな星空が見える場所は必然的に山の中や人里離れた場所になりますので、道中では必ずといっていいほどウサギやタヌキ、イノシ

シなどの動物と遭遇し、車に衝突されたこともあります。現場でも周囲にガサガサと動物の気配を感じながら観測しています。天文担当の学芸員は不規則な生活や寝不足が付き物なのですが、苦労して撮影した写真や動画を県民のみなさんに見ていただき、天文に興味をもっていたことを楽しみに日夜頑張っています。

岩村和政（学芸員・天文分野担当）
▽次回は5月11日で

山口県立山口博物館
TEL083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。
最新情報はホームページで。

